

目 次

まえがき

序 章 メタ表示について

..... 東森 勲	1
1. メタ表示とは	1
2. メタ表示能力とは	3
3. 引用とメタ表示	5
4. Noh (2000) の研究	6
5. 世界におけるメタ表示の研究動向	7
5.1. イギリスにおける研究	7
5.2. スペインにおける研究	7
5.3. ノルウェーにおける研究	8
6. 脳科学によるメタ表示研究	12
7. メタ表示の論文	12

第1章 発話行為条件文のメタ表示分析

..... 中島 信夫	15
1. はじめに	15
2. 発話行為条件文について	16
3. 分析の準備	20
3.1. 延長直示 (deferred ostension)	20
3.2. メタ表示 (metarepresentation)	24
3.3. 開条件節 (open-P clause) と閉条件節 (closed-P clause)	33
4. 行為の規則と条件文	36
4.0. 発話行為条件文	36
4.1. 行為と規則について	36
4.2. 手順指示文の解説	37

4.3. 発話行為の手順指示	40
5. 開条件節の発話行為条件文	46
5.1. 帰結節が身体的動作・行為の場合	46
5.2. 帰結節が発話行為の場合	48
5.3. 開条件節を持つ発話行為条件文の働き	53
5.4. 発話行為条件文の様々な例	58
6. 閉条件節の発話行為条件文	65
6.1. 実践的推論	65
6.2. 閉条件節の条件文について	67
6.3. 具体例での検証	73
6.4. 真偽判断を行う推論条件文 (inferential conditional)	78
7. ビスケット条件文 (biscuit conditional)	81
8. まとめ	87

第2章 否認とメタ表示

..... 五十嵐 海理 93

1. はじめに	93
2. 否定のあいまい性と否定／否認	94
2.1. メタ言語否定	101
3. メタ表示と否定	106
3.1. メタ表示	106
3.2. エコー操作子 (echo operator)	110
4. 否定詞を伴わない否認	112
4.1. タブー表現による否認	112
4.2. Like による否認	119
4.3. Like + 節のパターンにおける解釈上の極性反転の原理	141
5. まとめ	145

第3章 英語ジョークとメタ表示をめぐって

..... 東森 勲 149

1. はじめに	149
2. メタ表示とジョーク分析の基本的な考え方について	151
2.1. メタ表示の定義	151
2.2. 言語表示について	151

2.3. 非帰属的メタ表示 (Non-attributive use) と帰属的メタ表示 (attributive use)	152
2.4. 解釈の用法 (interpretive use) / 言い換え (reformulation) と メタ表示	153
2.5. 引用について	154
2.6. 表現されていない思考	156
2.7. メタ表示と条件文	156
3. メタ表示とジョークの分析	156
3.1. ジョークと言語表示	156
3.2. ジョークと非帰属的メタ表示と帰属的メタ表示	170
3.3. ジョークと解釈の用法 / 言い換え (reformulation)	171
3.4. ジョークと引用	171
3.5. ジョークと表現されない (想定から復元された) 元の表現から の変形	176
3.6. ジョークと条件文について	177
3.7. 言語形式	178
3.8. 意味 (領域), コンテキストのずれ	181
4. 事例研究	184
4.1. サンタクローズジョークとメタ表示	184
4.2. PC 表現とジョークについて	186
5. 終わりに	190
付録 1 ワークショップ: メタ表示と語用論	195
付録 2 基本用語の定義	200
索引	205
執筆者紹介	209